

項目		書名	17 教出
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>音楽のおくりもの</p>	
特色	特 内 容	<p>○発達段階に応じて、我が国や諸外国の音楽や文化と関連する幅広いジャンルの教材が用意され、多様な音楽に触れることができるように工夫されている。</p> <p>○主要部分と選択可能なオプション部分で構成され、効果的に組み合わせることにより、表現と鑑賞の活動がバランスよくできるように工夫されている。</p> <p>○系統的な題材を6学年通して段階的・系統的に学べる構成になっている。</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○基礎的・基本的事項を身に付けさせるために、楽曲ごとに題材と使用される共通事項が表示され、学習内容が明確である。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○既習学習及び関連ページが明記されており、発展的な学習ができるように工夫されている。</p> <p>○「音楽を言葉で表すための言葉」が表示され、表現力を深める工夫がされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「もっとあそぼう」のコーナーがあり、学習内容を生かして主体的な表現活動ができるよう工夫されている。</p> <p><音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てる工夫></p> <p>○日本音楽の学習では、日本特有の季節感や自然の美しさ、歴史や文化との関わり、和楽器の奏法などに楽曲を通じてふれることができ、心揺さぶりながら情操面を養うことができる。</p> <p>○著名人の写真やメッセージを掲載し、自分と音楽とのかかわりや音楽のもつ意味等を考える学習活動に取り組めるように工夫されている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を培う工夫></p> <p>○歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞のいずれにおいても「共通事項」を手がかりとして児童が学習できるように構成されており、巻末ページ等で振り返りができるように工夫されている。</p> <p>○音楽づくりでは、鑑賞との関連を重視し、「音のスケッチ」の中で、系統的、発展的に位置付けされている。また、様々なヒントが掲示されている。</p>	
	資 料	<p>○見開きページの写真・イラスト等の資料は、臨場感溢れるものであり、親しみやすく、興味関心が深まるものとなっている。</p> <p>○「音楽のもと」「リコーダー運指」等の基礎的な共通事項について、絵や図を使用しやすくされている。</p>	
	表記・表現	<p>○楽譜や文字の大きさは、発達段階に応じて設定されている。歌詞の表記は黒明朝体であるが、2番をゴシック体で表記し、読みやすい工夫がされている。</p> <p>○活動ポイントや既習学習を明記する記号が定められ、活用しやすい。</p> <p>○楽譜のベースカラーは白を基本とした薄い色で、落ち着いて取り組める。</p>	
	総 括	<p>○様々な記号や図、キーワードやキャラクターを用いた多くの説明と多くの学習内容が凝縮されているので、児童の実態に合わせて知識を深化補充することができる。</p> <p>○各学年に示されている「にっぽんのうた・みんなのうた」は、歌い継いでいきたい我が国の歌の扱い、我が国の自然や四季、くらしと音楽のかかわりが掲載されている。</p>	

<p>項目</p>	<p style="text-align: center;">書名</p> <h1 style="text-align: center;">小学生の音楽</h1> <p style="text-align: right;">27 教芸</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○題材は6年間を通して、系統的、段階的に設定されており、表現と鑑賞の関連を図りながら学びが学年の中、学年を超えてつながるように構成されている。</p> <p>○発達段階に応じて、我が国の音楽や文化、国際理解、道徳的観点と関連する教材を充実させ、自国の文化・伝統を愛する心情を深めていくことができる。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○基礎的基本的な内容を理解したり習熟したり振り返ったりできるコーナーが設定され、着実に身につくように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○線、色や図形楽譜等を使用し、視覚的に「音楽のつくり」に着目できるように工夫されている。</p> <p>○低学年では、身体的な活動を中心に、身体で感覚をとらえていくような活動の工夫がされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○音楽づくりのてがかりを豊富に示され、楽しく作る工夫がされている。</p> <p>○巻末に基礎・基本的な事柄が載っており、自主的に調べて、今までの学習を振り返ったり、学習をより深めたりすることができる工夫がされている。</p> <p><音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てる工夫></p> <p>○楽曲が精選されていて、1つの楽曲から多くの表現方法や児童の感受性を引き出して学習が進められるように工夫されている。</p> <p>○題材内で、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の関連を図りながら進めることができるように、内容の構成が工夫されている。</p> <p>○「ひびき」「美しさ」等、音楽に対する言葉が使われており、情操的な指導を重視する工夫がされている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を培う工夫></p> <p>○「聴く」ことが重点的に取り上げられ、我が国や諸外国の音楽を尊重しながら音楽活動をすすめていく工夫がある。</p> <p>○歌唱教材が、学年に応じた音域に配慮し、言葉の抑揚やまとまりを感じ取らせるための、記譜の工夫がされている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内容</p>	<p>資料</p> <p>○指導内容によって、写真や絵が使い分けてあり、使用しやすい工夫がされている。</p> <p>○巻頭ページには、児童が興味関心をもって音楽活動に取り組める工夫がされている。</p> <p>○学習内容に応じて、見やすくわかりやすい文章で資料が掲載されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○1ページ内の文字数や楽譜と資料とのバランスが見やすいように、工夫されている。</p> <p>○題材ごとに通し番号がふられており、題材のまとまりごとにわかりやすい工夫になっている。</p> <p>○題材、楽譜、説明などの文字の大きさや色合い、書体等で工夫されており、見やすくバランス良く標記されていて統一感を感じられるようになっている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">総括</p>	<p>○題材、教材の内容・バランスは、各学年の授業時数に配慮して設定されており、学習の見通しが明確になっている。総ページ数が6年間を通して統一されている。</p> <p>○全学年に「歌いっごう日本の歌」として童謡や唱歌などが取り上げられており、世代を超えて日本文化の共有ができるように工夫されている。</p>